

KITA NO NOUSYOKUKA

北の農職家

2016

12

No.240



(有)おんねファーム 幾島 大智さん一家

特集

玉葱青年部10名で道外店頭販売体験 「高品質玉葱産地を目指して」



左より玉葱青年部：幾島大智さん、細川直祐部長、金一善紀さん、西原浩一郎さん

津別町玉葱振興会

玉葱青年部長 細川 直祐

津別町玉葱青年部（細川直祐部長）
一行10名は、11月17日から2泊3日の
日程で宮城県と東京都を訪れ、青果市
場の視察やコープ宮城で店頭販売を体
験しました。

【株宮 果】

最初に訪れたのは仙台市（株宮果、場
内）で津別町から送られた三人の生産者
の玉葱箱を開封して確認。いずれも、
色沢・玉しまり、黒シミやハゼも無く
高い品質を保っていました。

震災以降、手狭な仮設や団地に住む
方が「食材は買い込まない傾向にあり、
惣菜や弁当などの中食で済ませる人が
多い」そのため従来の売り方ではなく、
新しい売り方やアイテムの提案が必要
と話していました。

【店頭販売体験】

2日目はコープ宮城3店舗に部員は
分かれて店頭販売を体験。どちらの店
舗もL・L大バラ売りがメインで、大
袋による販売は苦戦を強いられる状況
でしたが、青年部員の声掛けに耳を傾
けてくれる客も多く、消費者との距離
を一步近づける交流となりました。

バラ売りはパッケージされたものと
は違い、一玉一玉選んで購入するため、
品質の信頼を上げることが必要であり、
産地を築いていくためにも、より一層
の高品質玉葱作りを再認識させられる
場面となりました。



津別から送られた玉葱を確認する部員。バラ売りの商品は一個一個吟味された品質が求められる。

【東京青果株】

最終日大田市場東京青果(株)では、北見地区玉葱は安定した高品質を維持しており、今後の輸入状況や府県産の情勢について意見交換を行った。(株)マルト商事では、人件費や人手不足を解消するために一昨年導入したムキ玉葱機械を視察。この機械は外品(M・大玉2L・長玉)では加工ロスするため、生食メインとなるL・L大の提供を望んでおり、産地と加工業者の思惑にズレがあり不安を感じる場面もあり、「加工用としての品種選定」で多くの意見交換が行われました。

「台風災害の正しい情報提供はJA組織上げて」

今回の店頭販売や業者訪問では、各



(株)マルト商事ムキ玉機械を視察。

懇談において共通して「台風災害で北海道産玉葱が全滅した」と言った噂を聞かされました。

消費者や各業者に不安を与える誤った情報が随所に広がっていると感じました。産地や市場が発信する最新情報量が圧倒的に不足しており、その結果大量の輸入を招くなどの弊害も起きており、正しい情報の発信をJA組織上げて行う必要を感じました。

消費者が思う品不足などを直接販売で、微力ではあるものの払拭できたと、北見地区玉葱生産者が安全・安心を掲げ、高品質、安定供給の取組と熱意を伝える機会として今回の役割は果たせたものと思います。「是非来年も来てください」と声掛けてくれた消費者、市場関係者の期待に引き続き応えて行きたいと感じる活動となりました。



加工品種について意見交換。

●／＼のオススメ情報!

トヨタの新車が続々登場!

C-HR
先行予約受付中!

- C-HR S-T 4WD 2,540,160円(税込)~
- C-HR HYBRID S 2WD 2,674,080円(税込)~

ROOMY
ルーミー/タンク

※販売店によって名称が異なります。

●ルーミー/タンク G 2WD 1,643,760円(税込)~

TANK
ルーミー/タンク カスタム

※販売店によって名称が異なります。

●ルーミー/タンク カスタム G 2WD 1,794,960円(税込)~

※掲載車両には登録諸費用は含まれておりません。

新車 早期予約キャンペーン

JAグループ X SUZUKI X SUBARU

平成28年12月26日[月] 受注分まで 登録期間は平成29年1月1日~3月31日まで

※掲載の車両本体価格には登録諸費用は含まれておりません。

SUZUKI 乗用車 期間中、スズキの乗用車(新車)で成約で下付付属品A~Eの中からお好みの1点をもれなくプレゼント!

モデル	車種	車種	車種	車種	車種
アルト F	ハスラー X	イグニス HYBRID MZ	スズキ エブリイ GA	スズキ エブリイ VB	スズキ エブリイ KB
847,800円(税込)~	1,461,240円(税込)~	1,778,760円(税込)~	1,053,000円(税込)~	1,083,754円(税込)~	833,760円(税込)~

さらにめれなく!
ホクレンブランドオイル エアロまたはマグマ42のいずれかーつプレゼント!

※別添付書類(1,234円(税込))が必ずあります。

輸入車も JAにお任せ!!

在庫多数有り アフターも安心

BUBU 北見提携

欲しいクルマが見つかる! 在庫は「BUBU北見」で検索! お問い合わせはJAまたはBUBU北見店まで!

軽トラック 期間中、キャリイまたはサンバートラックを新車で成約で付属品プレゼント!

付属品8品プレゼント!

- シガーライター
- 荷台マット(5mm)
- ゲートアップ(ブレー)
- リアゲートチェーン
- フロアマット(2枚)
- スノーブレード
- スタッドレスタイヤ
- ホイールセット
- ホクレンブランドオイル 4L

スズキ キャリイ KC 4WD 5MT 標準 車種本体価格(税込) 833,760円~

スバル サンバー TB AWD 5MT 標準 車種本体価格(税込) 804,600円~

軽バン 期間中、エブリイまたはサンバーバンを新車で成約で付属品プレゼント!

付属品6品プレゼント!

- フロアマット(2枚)
- スノーブレード
- ドアバイザー
- シガーライター
- スタッドレスタイヤ
- ホイールセット
- ホクレンブランドオイル 4L

スズキ エブリイ GA 4WD 5MT 標準 車種本体価格(税込) 1,053,000円~

スバル サンバー VB AWD 5MT 標準 車種本体価格(税込) 1,083,754円~

※登録諸費用は別途取扱いします。※スズキキャリイJA特別パッケージ車は、本キャンペーン対象外となります。※成約プレゼントはJA指定の商品となります。一部対象外となる車種がございます。※写真・イラストはすべてイメージです。

JAの食育活動



津別高校出前授業 「協同の精神」を講義

有岡敏也営農部長による「協同組合と株式会社の違い」「協同の精神」を講義。

JAの食育活動

JA第8次農業振興計画（2016年目標）では、「持続可能な農業の確立と地域づくりを目指す」と基本目標を設定し、重点施策として「地域コミュニティの支援」を謳っており、この中に「食育活動の推進」を掲げています。

JAつべつの食育活動は10年ほど前から始まりましたが、2011年網走漁協・西網走漁協との連携が始まって以降、活動領域は大幅に広がり網走川流域を一円に、学校に限らず地域・流域を巻き込んだ活動の展開となって来ています。昨年発足した「網走川流域の会」の活動の柱には「網走川流域学習事業」が盛り込まれ、各市町村の教育委員会への協力が謳われており第一次産業の食育活動の重要性が再確認されています。

津別高等学校（井上明子校長）一年生34人を対象に「JAの仕組み」を学ぶ出前授業が、11月8日総合的な学習時間を利用して行われました。

農業体験の取組は、10年前（2006年）津別高校金田和美教諭から「農業体験は自然体験、生活体験、社会体験の3つを含んでおり、子供たちに『生きる力』を身につける有効な取組であり協力願いたい」と要請があり、JAがそれに応えるかたちで始まりました。3年前からは座学を一時取り入れ「JAの仕組み」と題して講義が行われるようになりました。

今回講義を1時間担当したのは有岡敏也営農部長、「JA概論」「JAの生い立ちとあゆみ」「JAの組織・機関」についてパワーポイントを使い説明。

この授業を通じて、「協同組合と株式会社の違い」や、スーパーで売られている加工食品の裏面を見て製造元や原料はどこから入っているか、『食』に興味をもってほしい。農協は『協同の精神』『相互扶助』で成り立っている

JAが展開する食育活動

	小学校	中学校	高校	道外高校	短大・大学	教 諭
5月	アソビバナ瓜植付		馬鈴薯作付			
6月		座学出前授業 1日農業実習				
7月						
8月		1日農業実習		大阪ベビー実習		3日研修受入 2日研修受入
9月	アソビバナ瓜収穫	1日農業実習		神奈川高校実習	一カ月間酪農実習	
10月	JA施設見学 ホタテ出前授業	調理実習	馬鈴薯収穫作業			
11月			座学出前授業 料理実習	呼人小出前授業		
12月	アソビバナ調理実習	農業体験報告会				



「さやあかね」植付から収穫作業、そして調理実習まで。

る組織です。精神的につながっていることは、皆さんが社会に出て生きて行く上でも先生や同級生、先輩、後輩などの人間関係の中に協力や互いに助け合うことで人間として必要なことです。『互いに助け合う』この根の部分を大切にして頂きたい」と結んだ。

講義を受けた迫田知夏さんは、「JAの歴史についてパワーポイントによる説明は理解しやすい内容でした。馬鈴薯の植付作業から収穫作業まで行い、更にこの後の調理実習まで行う事で、『食』についての意識を持つ良い機会となりました」とお礼を述べました。

講義の後、生徒たちは会場を調理実習室に移り、家庭科工藤真美子教諭の指導により9月に収穫した「さやあかね」を使い「ジャーマンポテト・いもだんご」作りを行い、全員で試食。植付から収穫、調理を行い出来上がった料理は一味違ったようです。



慣れない手つきで、全員で作った「ジャーマンポテト・いもだんご」その味は…みなさん「楽しかった。おいしかったー」と笑顔。



【連載】今こそJA！～その意義と役割～ 第3回 JAと株式会社の違い

19世紀半ば、イギリスの労働者は低賃金による生活苦にあわせて、生活用品の高騰、さらに商品の品質や重量を偽って設ける悪徳商人が横行するなど劣悪な生活環境におかれていました。こうした中、1844年、社会運動家ロバート・オウエンの考え方をもとに、イギリスのランカシャー州にあるロッチデールという小都市で織物職人28名が1人1ポンドを出し合い、協同組合を設立することに成功しました。これが世界初の協同組合である「ロッチデール公正先駆者組合」です。その形態は現在の生活協同組合と同じものと言われています。

この組合が成功した理由の一つとして、組合員が自ら出資金を拠出し合い、必要なものを協同で調達して分け合う仕組みをとったことです。これは他人任せではなく、自らの暮らしを協同の力で守るということが根底にありました。



* ロバート・オウエン (1771～1858年) イギリスの社会運動家。協同組合運動の父といわれる。

もう一つは、組合員が運営するためのわかりやすいルールを定めたことにあります。1・購買高による剰余金の分配、2・品質の純良、3・取引は市価で行う、4・現金取引、5組合員の平等（一人一票制）、6・政治的・宗教的中立の原則、7・組合員の教育促進、などを運営原則として定めました。これは「ロッチデール原則」と呼ばれ、その後いくつかの修正を経ながら今日の協同組合原則に受け継がれています。

ロッチデール組合の設立から172年後の現在、協同組合は世界で組合員数が10億人を超える組織に成長したのです。



JA情報館



JA青年部

「農村の魅力を発信」「1分間CM」優秀賞

JAつべつ青年部（鹿中徳三郎部長）は、北海道農協青年部協議会が主催する「動画で発信！農の魅力」コンテストに応募し、オホーツク地区JA青年部大会で優秀賞を獲得しました。このコンテストは、消費者や国民各層との連携を強化し、地域住民に農業・農村の果たす役割を理解・共感を促す事を目的に毎年開催されており、各JA青年部は競い合って「我町・わが青年部」をPRする動画を作成しています。第一関門となるオホーツク管内で3組（JAつべつ・JAびほろ・JAオホーツク網走）の青年部が優秀賞を獲得しました。今後、全道大会に進出しさらに全道一が決定されます。

青年部冬季懇談会

農協の歴史を宮川常務よりまなぶ

JAつべつ青年部（鹿中徳三郎会長）は、11月24日JA会議室において部員23名が参加して冬季研修会を開催しました。開会挨拶で鹿中会長は「国はJA改革を推し進めてきています。この先どのような方向に進むか不透明になっています。これから私たちは、その時代変化に対応するためJAが通ってきた歴史を学ぶことが今必要です」と挨拶。講演を行った宮川義昭常務は、中央会飛田会長の「農協法公布記念」メッセージを引用し「入植の歴史・冷災害との格闘の歴史・経営危機あるいは成功、目覚ましい成果等を先人がどのように乗り越えてきたか歴史がおしえてくれます」と学習の意義を披露。「歴代組合長、参事の紹介」から始まり自ら参事として体験した「不良債権からの克服」「農協青年部結成の歴史」「合併構想の経過と今後の見通し」など1時間半に渡り講演しました。



フレッシュ・ミズ カゴ作り開催

フレッシュ・ミズ（河本玲奈会長）では、会員の親睦と交流を目的に11月15日多目的活動広場さんさん館に会員11名が参加してカゴ作りが開催されました。津別町手をつなぐ育成会鈴木利枝さんの指導を受けてクラフト紙を使ったカゴ作り、お菓子を入れたり小物を入れたりさまざまに利用できるカゴは鈴木さんの適切なアドバイスを受けて午前中で完成。

モ〜…一回り 大きくなって下牧

5月下旬にJA栄牧場に入牧した和牛、ホルスタイン106頭は、5カ月半ほど放牧されて11月2日それぞれの生産者の元へ引き取られて行きました。雪もちらつく季節となり入牧した時よりも一回り大きくなって、生産者が用意されたトラックに職員が一頭一頭識別番号を確認しながら積み込まれて行きました。





JA情報館

JA青年部・町・JAが協力「農村環境と景観を守る」 廃プラ・廃タイヤ 39 tを回収

毎年春と秋に実施されている廃プラ回収事業が、11月11日
麦乾工場前広場で実施されました。この事業は、網走川上流
の農村環境や景観を守るため、町農政グループとJAつべつ・
JA青年部三者が協力して行っております。

秋の回収に参加した戸数は町内99戸、フレコンバックや農
薬ポリ缶など再利用される廃プラ29 t、廃タイヤ10 tは、前
年を上回る回収となりました。



小麦防除 102ha無人ヘリ活躍

例年より早く10月下旬に降雪になり、秋小麦の雪腐れ防
除が出来ない状態が続いていましたが、11月に入り天候が
回復し雪が溶けた事から、計画されていた無人ヘリによる雪
腐れ防除が14日から始まりま21日までに終了しました。高
台地区大松富男さんの畑では無人ヘリ専門業者が訪れ手際よ
く農薬を積み込み、3 haの畑も15分程度で終わらせていま
した。今年の申し込面積102ha、利用料金は2,981円/10a。
条件の悪い地域では融雪剤を散布してから防除を行うなど、
一足早い雪に苦勞を強いられる年となりました。

農協・漁協の力を合わせ6次化へ

JAつべつ・網走漁協・西網走漁協の女性部が力を合わせ6次化に向
けた協議が行われています。2015年3月から始まったこの取組は、
まだ具体的な商品開発までにはいっていません。11月28日網走漁
協に集まった女性部員は、網走市藻琴で2011年に起業した「合同会
社大地のりんご」代表道山マミさんを招き、会社をスタートさせる取
組や商品売り出すまでの取組を披露した。

農業・漁協の婦人による取組はあまり例がないだけに、「やれない
理由を探さず、やれることから始める事が大切」「農協・漁協本体の
協力も欠かせない」「予算を決めて失敗しても文句を言わない約束も
必要」と話しました。



年末に向けて防犯訓練 「緊張走る 1分10秒」



貯金共済課では、美幌警察署の協力を得て11月24日防犯訓練が
行われました。強盗に扮した警察官が突然窓口で刃物を出して「金
を出せ」と大声で叫びます。模擬訓練と思いつつも一瞬職場全体に
緊張が走ります。「これに金入れろ!」「早くしろ!」と要求。課長
は「落ち着いて下さい!」「窓口にお金はありません!」「職員には危
害を加えないで下さい!」…犯人はお金を確認して逃走。

犯人が店舗に入ってから出て行くまで1分10秒。服装、身長、年
齢、人相、追いかける役等それぞれ役割分担を発表し、答え合わせを
行い終了。警察署員からは「訓練を重ねる事で対応や特徴の精度を
高める事ができます」。山本課長は「初めて体験する職員もあり毎
年訓練は必要」と話していました。

【連載】今こそJA！～その意義と役割～
第4回 JAの販売事業①
「委託販売」と「買取販売」

最近、国の規制改革会議が1年以内にJAの委託販売を廃止し、全量を買取販売に転換すべきとの提言を行ったとのニュースが報じられました。今回は組合員にとってかわりの深いJAの販売事業について考えてみましょう

JAの販売事業は、組合員がJAに自ら生産した農産物の販売を委託する「委託販売」の形が主力になっています。JAは委託された農産物を販売し、手数料を差し引いた代金を組合員に渡します。委託販売は同じ種類の農産物をJAの地域全体から集めることで規模の経済性が発揮され、さらに品目によっては需給調整や付加価値の向上のため、農産物を一定期間貯蔵したり、加工するなどして市場や量販店に対して価格交渉を有利に進めることができます。こうして全道段階で結集したものがホクレン、さらに全国段階につながっていくと全農という形になり、次第に販売力は強化されていくのです。

こうした委託販売は米や生乳など全道規模で大量に取り扱う農産物に向いていますが、販売価格の確定までに時間がかかり、年度をまたぐこともあるといったデメリットがあります。このため、組合員からは農産物を出荷した時点で代金が支払われる「買取販売」を求める声もあります。買取販売は肉や小豆など一部の作物で行われていますが、農産物の買取にはその時々価格差といったリスクの回避が重要であり、大量の買取は資金調達などの面からも難しいのが現実です。農産物の特性を考慮しつつ委託販売と買取販売を組み合わせながら有利な販売を展開していく、これがJAの販売事業のあるべき姿ではないでしょうか。



第十回理事會報告

開催日
11月25日

報告事項

- ①平成28年10月末財務状況について
 - ②組合員異動状況並びに持分譲渡について
 - ③平成28年度自己資本（出資金、造成の概要について）
 - ④平成28年度給与及び諸手当の改正について
 - ⑤寒冷地手当の支給について
 - ⑥第3回内部審査結果報告書及び回答について
 - ⑦子会社(株)だいちの運営状況について
 - ⑧常任委員会の顛末について
 - ⑨平成27年度種子馬鈴薯本精算について
 - ⑩各利用事業の収支見込について
 - ⑪特定組合員の対応について
 - ⑫各作物の状況及び生産者団体の活動状況について
 - ⑬各課報告事項
- 付議事項**
- 議案第1号**
年末手当の支給について
- 議案第2号**
平成28年度農産物の概算払い基準について
- 議案第3号**
理事に対する利益相反取引について（経営所得安定対策仮渡金・資金の貸出）
- 議案第4号**
資産査定要領に基づく担保評価基準の見直しについて
- 議案第5号**
特定組合員に対するの貸出について
- 議案第7号**
平成29年営農計画書の審査方針並びに基準について
- 協議事項**
- ①地区懇談会の班編成及び提案事項について
 - ②平成29年度事業計画の策定について
 - ③平成28年度加工馬鈴薯集出荷貯蔵施設設計管理業務委託について

【連載】今こそJA！～その意義と役割～
第5回 JAの販売事業②
「一元集荷多元販売」

JAは組合員が委託した農産物をどのように販売しているのでしょうか？

今回は協同組合最大の特徴ともいえる「一元集荷多元販売」について生乳を例にとってみることにしましょう。

生乳には、飲用乳向けや「生クリーム・バター・脱脂粉乳・チーズ」といった乳製品向けなどさまざまな用途があり、販売価格については各用途で異なり、それぞれの市場情勢を踏まえた価格設定となっています。中でも飲用向けが最も高い価格となっていますが、酪農家がこぞって飲用向けのみに出荷した場合、市場に対して供給過多となり価格低下を招くことになります。また、価格が低いといった理由で、乳製品向けの販売を抑え過ぎると、輸入品が増加し、国産生乳の需要を喪失することにもつながります。

このため、国の制度として「指定生乳生産者団体」が設置され、北海道ではホクレンが指定を受けており、一元集荷多元販売による「生乳の用途別取引と需給調整」および「公平な乳代配分」を行っています。具体的には、指定団体であるホクレンが全道の酪農生産者から集荷した生乳を一元管理し、JA等の生産者団体を代表して乳価交渉を行い、全ての乳業者と全ての用途においてバランスを考えながら販売しています。また、代金については集荷した生乳の成分量で割り返した単価により乳代を支払っています。

このことにより、北海道内の何処で営農しても、平等な乳代精算が行われることになります。これが「プール乳価」と呼ばれるものです。

こうした組織の結集力によって農産物の有利販売と需給の均衡を同時に実現するのが「一元集荷多元販売」の仕組みですが、実はこの方式は協同組合にしか実施が認められておらず、株式会社では独占禁止法により実施が制限されています。もし、全農・ホクレンの株式会社化や指定生乳生産者団体制度の廃止が現実になったとしたら生産者への影響は多大なものになるでしょう。

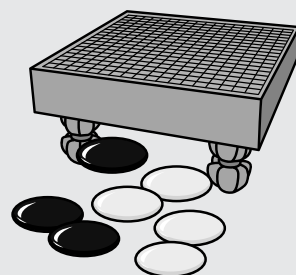


● **年金友の会情報** ●

第5回
囲碁大会

開催日：11月17日(木)
 場所：JAつべつ和室

優勝：三島 宏章(四段格) 4勝0敗
 準優賞：谷川 忠雄(三段) 3勝負
 3位：佐藤 忠(二段) 2勝2負
 4位：伊藤 政義(二段格) 2勝2負
 5位：金田 哲男(二段) 2勝2負



JAグループ通信:大会実践フォーラム特集号



毎月、JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介しておりますが、今回は、1月2日に開催したJA北海道大会実践フォーラムで発信した「JAグループからのメッセージ」をお伝えします。

「JA北海道大会実践フォーラム」では、昨年の第28回JA北海道大会の決議事項に対する実践機運を高めることを目的に「農業所得20%増大」と「550万人サポーターづくり」をテーマとするパネルディスカッションと、JAグループからのメッセージとして決議事項の実践状況を発信しました。

以降、メッセージの内容を掲載します。

JA北海道中央会

私たちは大会決議事項である「所得20%増」「担い手倍増」「サポーター550万人づくり」「JAグループの人づくり」等、息の長い取り組みを続けて行かなければなりません。

今後も、協同の理念のもとで着実に実践を積み重ね、農業・JAの意義を積極的に発信し続けながら、北海道農業の価値を高めて行くことで道民や国民に信頼され愛されるJAグループになることを目指して参ります。

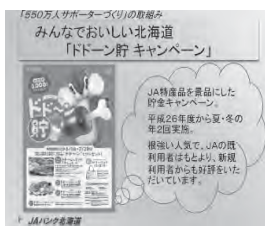


JA北海道信連

新規担い手倍増、農業所得増大の取り組みとして、各連合会が連携しての「後継者親元就農」「ICT導入」等へ助成支援する『担い手確保・育成支援事業』の実施や後継者等向けに借換による償還負担軽減を図る資金を創設しました。

また、550万人サポーターづくりとしてコンサドール通帳の発行、親子料理教室、「ドドイン貯金キャンペーン」の実施等、JAファンづくりに取り組みました。

今後も、選ばれるJAバンクを目指して取り組んでまいります。



ホクレン

『販売・購買・営農支援を三位一体とする事業運営』を基本戦略とし、「価値向上」「生産性向上」「コスト低減」の実践を通じて「農業所得の向上」を目指すとともに、経営の合理化による配当の向上、主要品目全般における手数料の引き下げ、各種奨励施策の実施など、生産者・会員JAへの最大限の還元に努め「皆様に選ばれるホクレン」を目指します。



JA共済連北海道

「相互扶助」を事業活動の原点に「ひと・いえ・くるまの総合保障」により、組合員・利用者が健康で安心して暮らせる地域社会づくりに貢献しています。

今後も引続き農業経営に貢献する取り組みと、JA支援の強化を重点事項として、地域密着の社会貢献活動を展開しながら組合員・利用者との結びつきを深めてサポーター550万人づくりに取り組みます。



JA北海道厚生連

厚生連は、設立以来「農民の健康保持と生活文化の向上」を目指し、安心して暮らせる地域社会と農村の環境づくりに寄与してまいりました。

今後についても、地域のつながりを守る生活基盤としての機能発揮と、道民と食と農でつながるサポーター550万人づくりへの貢献を「医療・健康管理・高齢者福祉・配置薬」の視点から推進し、取り組んでまいります。



カップル訪問

平成26年
11月15日入籍

(有)おんねファーム

ともり

みゆき

幾島 大智さん (34歳)・美幸さん (34歳)

けいし

啓心くん (5カ月)

大智さんは相撲の才能を認められ、津別中学校から札幌商業高校に入学。北海学園北見短期大学を経て介護師として6年留辺蘂で勤務。美幸さん、羅臼町出身、実家は知床峠を降りたバス会社のとなり「そば処しずか」。釧路市で美容師の資格を取得して北見市で美容師として10年勤務。出会いは北見市、友人の紹介でした。



●初対面の印象は

お二人、就職してから友人の紹介で付き合いが始まり、交際期間は7〜8年ありましたので思い出せません。(笑)

●長い付き合いの原因は

大智さん、介護師の職場はきつい割には給料が安くて、結婚しても生活が成り立たないと思ひ、なかなか踏み切れなかった事が大きな理由です。(汗)

●初めてのデートは

美幸さん、どこだろう…長くて全く覚えていませんね。(大笑)

●楽しみにしている事は

大智さん、洋楽で特にヒップホップ系の音楽を聴く事です。
美幸さん、私も同じ音楽好きです。得意なのはスノーボードです。

お二人、夏は仕事が忙しいのであまり遠くまで出掛けられません。これからの季節温泉に行く事が楽しみです。これまで定山溪・登別温泉など一泊か二泊の温泉に行っており、今年も楽しみです。

●津別の印象は

美幸さん、北見市も近いし、人もあたたかい、いい街だと思います。

●将来目標は

大智さん、今担当は玉葱と麦です。父も間もなく年金世代に入ります。父たちが造った会社を少しでも拡大できるように知識や技術を磨いていきたいと思っています。

美幸さん、結婚して2年間(有)おんねファームで働きました。畑の仕事は好きです。大智さんの実家にハウスがあるので、来年からは子育てをしながら、お母さんと一緒に野菜作りを頑張りたいです。



12月の主な行事



12月10日 土	閉庁	24日 土	
11日 日		25日 日	
12日 月	企画会議 非常勤理事研修～13日 十勝農試協議	26日 月	広域連理事会 振興局鏡餅贈呈
13日 火	地区施防協議 人参生産組合全体会議	27日 火	地区畑青対
14日 水	役員推薦会議 広報座談会 振興計画会議	28日 水	
15日 木		29日 木	終礼
16日 金	監事研修会 加工馬鈴薯コントラ会議 年金友の会役員会議	30日 金	貯金共済課仕事納め
17日 土		31日 土	
18日 日		平成29年1月1日 日	
19日 月		2日 月	
20日 火	網走川流域の会議 総務委員会 道畑対 甜菜立会人慰労会	3日 火	
21日 水	経済委員会 地区担い手農地部会	4日 水	金融仕事始め
22日 木	理事会	5日 木	
23日 金	天皇誕生日 農工連役員会	6日 金	仕事始め 経営会議
		7日 土	
		8日 日	
		9日 月	成人の日

JAつべつ オータム・ウィンター キャンペーン

平成28年10月3日(月)～
平成28年12月30日(金)



■定期貯金 10万円以上

期間1年 = **0.10%**

(※他行預け替え **0.50%**)

期間2年 = **0.10%**

期間3年・4年・5年 = **0.15%**

■定期積金

契約額 12万円以上

期間1年以上 = **0.10%**

粗品プレゼント♪

100万円以上新規契約のお客様に対して、期間中1名義に限り1回
玉ねぎ10kgもしくは馬鈴薯10kgをお届け致します。
100万円未満のご契約されたお客様に対しては、通常の粗品を
お渡しいたします。

対象条件

- ①対象者：個人
- ②大口定期・シルバー定期対象外
- ③スーパー定期貯金・定期積金とも預入・掛込期間は1年以上
- ④受入金額：10万円以上1,000万円未満の新規または増額書替
(満期時の利息分は増額に含めません)
- ⑤上記条件を満たした普通貯金および定期積金からの定期貯金預入
は対象と致します。
- ⑥定期積金満期後、新たに再契約(減額再契約含む)した場合、
新規とみなしキャンペーン対象と致します。
- ⑦他行からの預け替えの場合は、証拠書類の確認が必要になります。
(通帳・定期払戻計算書・ATM利用明細書等をご持参くださいコピーは必要ありません)
- ・他行からJAに送金される方は、後日JAが送金手数料を負担致します。
尚、貯金口座への振込とさせていただきます。
- ・他金融機関からの預け入れについては、新規のみとしまして、増額書替はできません。



津別町農業協同組合 貯金共済課(担当 川瀬・山本) ☎77-3170